

こんにちは！お元気ですか。

マツサカエンジニアリング メルマガ 28 号を送ります！お楽しみください！

（※お電話頂いた時は・・・お電話有難うございます。

メック（英文名：Matsusaka Engineering Co., Ltd の頭文字で MEC）です！と応答しますので  
宜しく願います）

---

—★ News Topics ★—

- [1. MEC 製品情報]        B&S エンジン搭載トラッシュポンプ
  - [2. MEC 営業部発信]    QP ポンプ ランキング～！！
  - [3. MEC 購買情報]       まだまだ続くの?? 値上げの雨あられ
  - [4. MEC QMS 事務局]     QMS 外部監査 奮闘記
  - [5. MEC 海外クレーム]    新しい発見?とは・・・
  - [6. MEC 総務部発信]     MEC SDGs 活動の紹介
- 

---

☆☆—————☆☆

TOP NEWS 当社おすすめ商品・イチ押し商品をピックアップ

—————☆☆

師走となり 2022 年も終盤を迎えようとしています、皆様におかれましてはどの様な 1 年でした  
でしょうか。

振り返ると、新型コロナは依然として収束せずサプライチェーンの混乱、原材料の高騰、また半導  
体不足による部品の納期遅延など製造業にとって厳しい 1 年でした。

調達部門はあらゆる手段を尽くし部品供給が遅れないように奔走しましたが どうにもならないモ  
ノの 1 つがエンジンです。

納期遅延すると生産計画見直し 納期変更 輸送便手配など手間が掛かってしまいます。

安定した生産を継続するには やはり 1 社に依存した購買の見直しが必要との結論に至りました。

打つ手として ブリッグス&ストラットン社製のエンジン採用に踏み切りました。

ご存じの方もいるかと思いますが、米国ウィスコンシン州に本社を構え 100 年以上の歴史がある世  
界最大級のエンジンメーカーです。

芝刈り機や除雪機などお使いになられている方もいるのではないのでしょうか。

MEC では 5~14HP の VANGUARD シリーズを採用し高圧、土木、灌漑ポンプ 10 モデルの搭載評価を行  
いました。

先陣として米国向け 2 インチ、3 インチ トラッシュポンプの生産を来年 1 月から開始します。

苦境の中 ブリッグスエンジン採用した事で 10 モデルも QP ポンプシリーズに追加され「転禍為福」  
と言われますが「コロナ禍転じて福となす」とでもいいでしょうか。

何が起きても不思議ではない世界情勢ではありますが 健全な企業活動が継続できるようにリスク回避に取り組んでいきます。

ブリッグス&ストラットン に興味お持ちの方↓

<http://briggsandstratton.co.jp/>

(技術部 辻本記)

☆☆—————☆☆

MEC 営業部発信：年末企画！QP ポンプをランキングしてみた！

—————☆☆

さて、年末企画！という事で今回はQP ポンプたちを色んなカテゴリーでランキングしてみました。私たち営業スタッフでも、こういったランキングは初めての試みなので非常に楽しみです。次の3つのカテゴリーでそれぞれTOP3を発表したいと思います。

- 【1. 自吸スピード】
- 【2. 高圧】
- 【3. 最大吐出し水量】

では早速行ってみましょう！

#### ★★自吸スピード部門★★

- 1. ????????
- 2. QP-105SX/GXH50
- 3. QP-301T/GX270

(※弊社設備における自吸速度を比較試験した数値によりランク付けしております)

#### ◆◆高圧部門◆◆

- 1. ????????
- 2. QP-T205SLT/GX270 (95m)
- 3. QP-205SX/GX160 高回転 (90m)

(※括弧内は最大揚程＝圧力)

#### ●●最大吐出し水量部門●●

- 1. ????????
- 2. QP-602/GX390 (2900L/分)
- 3. QP-602D/L100 (2200L/分)

(※上記全部門において類似モデルは除き代表的なモデルのみで比較しております)

1位を早く教えてよ！と言われてしまいそうですが、折角ですのでちょっと簡単な製品紹介も併せて下記の資料にて栄えある第1位を発表させていただきます！

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2022/12/QP-PUMP-RANKING.pdf>

皆さん予想どおりだったでしょうか？

そんなモデル初めて知ったよ～、という方もいらっしゃるかも知れません。

4位以降は?? 他の部門のトップは???

もし気になる方は担当営業までお問い合わせください！

今回の【年末企画！QPポンプをランキングしてみた！】は、MECイケメンランキングNo.1のわたくし中瀬がお送り致しました！（ウソです…） 次回の企画をお楽しみに！

（営業部 中瀬記）

☆☆—————☆☆

MEC 購買情報：まだまだ続く?? 値上げの雨あられ

—————☆☆

今年を振り返ると、MEC購買部門は「泣きっ面に蜂」の1年でした。

材料不足で納期に間に合わない・・・ 価格を見直してほしい・・・

私の中での流行語大賞はどちらにしようか？ 真面目に悩んでいる今日この頃です。

思い起こせば、2020年2月横浜に停泊したダイヤモンド・プリンセス号のコロナ感染者から始まり、その2年後にはロシアのウクライナ侵攻が発生、その影響から日用品から食品、エネルギーに至るまで全ての価格が上昇しました。

当然ながら我々製造メーカーもその影響は大きく、鉄系材料・非鉄系材料の部品コスト並びにその周辺環境においても天井知らずの上りっぱなしの状態が続き、胃に穴が空く様な日々が続いた事は未だに忘れられません。

その一例でポンプの部品に多く使用しているアルミダイキャストの市況価格は、2020年夏頃から上昇に転じ今年の平均価格は2020年の約1.5倍で現在も推移しています。

全体的に未だ高止まりの状況は続いていますが、5ヶ月ほど前から鉄鉱石や石炭・非鉄金属の錫・ニッケル・アルミニウム類の市況価格がようやく下降傾向となってきています。

購買部門としては明るい兆しと期待しています！

参考までに、高止まりを続けている鉄板部品の市況価格、少し下がり始めた傾向のアルミニウムの市況価格推移を下記します。

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2022/12/SHIFT-TABLE.pdf>

また海上物流の要となるコンテナが不足しリードタイムが読めない程長期化した事、海上運賃も部品コストと同様に天井知らずの上昇が続いた事もあり、改めて日本の多くの製造業は販売も調達も海外に依存している事を痛感しました。 調達の立場としてはそのリスクを少しでも回避し、安定した部品調達を目指していきたいと思えます。

最後になりますが、コロナ禍と戦争による影響は、私たちの身近な生活にも大いに関わってきています。

三重県多気工場の金銭感覚に優れた？ 主婦に聞いた値上ベスト5 を発表します。

1. ガソリン 何とんでも全てに影響が出るガソリン、昨年と比較して 20%UP
2. 電気料金 最新オール電化の家庭でも年間 8 万 UP  
(因みに私の家庭では真夏の 8 月で昨年と比較して何と 1 万も UP しました)
3. 飲料・食品 価格は変わっていない様でも、内容量が減っている。騙された気分！
4. 菓子類 20%~30%価格 UP して、更に内容量も減っている。最悪！
5. 猫エサ 人間の菓子類と同様 20%~30%価格 UP も、なんと中身は減ってない。

今年の冬は寒さが厳しくなる事が予想されています。

我が家の 2 歳になるオス猫と一緒に寝て、湯たんぽ代わりにする事で電気料金を抑えるしか最早方法は無いかもわかりません！！

(資材管理部 石原記)

☆☆—————☆☆

MEC QMS 事務局：QMS 外部監査 奮闘記

—————☆☆

9 月に ISO9001 の定期審査（外部監査）がありました。

MEC は 2000 年から継続して品質マネジメントシステム(QMS) 認証を取得しており、認証機関による毎年の審査は、弊社の継続的な改善活動が評価される一大イベントです。

今年 1 月から QMS 事務局メンバーに加わり、いきなり「事務局長」（品質管理責任者の補佐役）に選任された私ですが、1 年目だしキャリアの長い品管責任者の監査対応を隣で学ぼうか、という軽い姿勢で監査の日を迎えるつもりでいました。

するとお天道様は観ているのでしょうか、監査前日に品管責任者がコロナ感染し、不在で監査に臨むことになったのです！

急遽、前事務局長に教を請い一夜漬けをしました。当日は自信のなさが表に出てしまっていたようです。審査員の質問に目が泳いでしまっている私に、QMS を社内で一番熟知している社長が見かねて助け舟を出してくれた場面が何度かありました。何とか無事監査を終えることができましたが、職務に向き合う姿勢を反省させられた 1 日でした。

奇しくも MEC の来年度品質目標の 1 つが、「業務の補完体制の構築を図る」です。私のために設けられた目標ではないでしょうか。

来年こそは品管責任者いや社長になったつもりで QMS 活動の推進に励みます！

そしてお客様に満足してもらえるポンプを造り続けます!!

●外部監査 健闘中の写真はこちら↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2022/12/STRUGGLING-QMS.pdf>

(資材管理部 三浦記)

☆☆—————☆☆

MEC 海外クレーム：新しい発見？とは・・・

—————☆☆

MEC ポンプはポンプケース、羽根車、メカニカルシール、オーリングなど様々な機械部品で組み立てられていますが、それぞれの部品はどういった材料で作られているかご存じでしょうか。

ポンプを分解したことがある方なら、機械としてはそれほど部品点数は多くないことはご理解頂けるかと思えます。

しかし！部品点数が少ないからと侮るべからず！材料にはこだわりがあります。

材料が持つ物性（耐摩耗性、耐食性、耐油性など）を活かすような材料を選んでいきます。

材料と一言でいっても非常に奥が深いです。

例えば銅合金でも JIS 規格の中では組成により細分化されており、その組成が僅かに違うだけでも大きく異なる性質をもつ場合もあります（材料メーカーの方なら見識が深いと思えます）

昨今では世界で環境規制が厳しくなる中、従来の材料を変更せざるを得ないことも多いですが、僅かな組成の違いだけだから・・・と容易に材料を変更すると想定外のトラブルが発生することもあります。

実際、我々においても、銅合金を鉛フリーへ変更したことで思わぬ不具合に見舞われました。

“羽根車（回転体）とライナーリング（固定体）が接触してスベリが悪い“という不具合です。

文献によると、鉛は自己潤滑性を有しています。

銅合金自体が軸受にもよく使用されるスベリ材ではありますが、製品の特性、使用する部位などの条件によって鉛フリーの僅かな差が不具合の引き金になった事例です。

僅かな組成の違いがこれ程までに影響するとは。皮肉ですが不具合をきっかけに新たな発見となりました。

不具合は成長するチャンス！として捉え、こういった経験を活かし、我々製品の品質向上に繋げていきたいです。

(技術部 眞弓記)



○配信元：株式会社マツサカエンジニアリング

<http://www.qp-pump.com/>

東京本社

東京都千代田区神田松永町 2 3 番

TEL : 03-3257-6130

FAX : 03-3257-6129

工 場

三重県多気郡多気町野中 2 1 5 5

TEL : 0598-39-3211

FAX : 0598-39-3131

発行/(株)マツサカエンジニアリング 営業部

